



スマホ被害の実態

最近、「どうやったら LINE のやり取りをうまくやめられますか。」という相談が急増しているそうです。LINE ではメッセージを読むと、相手に「既読」の文字が表示されます。安否確認ができるための機能ですが、これがいじめを発生させる原因となっているのです。

メッセージを読んですぐに返信しないと「既読無視」といわれ、仲間外れにされます。方法はグループから強制的に退会させられる「ライン外し」や、グループに1人だけ残して別のグループを立ち上げる方法などがあります。外される不安感からメッセージ交換が長時間に及ぶこともあり、「LINE 疲れ」で寝不足に陥る中高生も少なくないということです。

このようなネットいじめのほか、友だちとのトラブル、出会い系被害（性被害）、個人情報漏えい、高額請求、スマホ依存などの被害が年々増加しています。右のグラフは、出会い系サイトやコミュニティサイト（LINE などの SNS、掲示板、チャットなど）に起因する被害児童生徒数を 24 年上半期と 25 年上半期で比較したものです。出会い系の検挙件数は減少していますが、コミュニティサイトの検挙件数は増加しています。「ID 交換掲示板」や「コミュニティサイト」での被害者数が多くなっています。



【奈良県での高1女子高生の自殺事件の記事】

被害者数・検挙数



スマホ依存と被害の実態を

無料アプリで知ろう！！

スマートフォンにおける代表的な被害事例を疑似体験できる無料アプリがあります。ダウンロードしてどんな被害がどんな仕組みで行われているのか理解してみてください。ぜひ今、子どもたちが置かれている被害の実態を理解し、子どもの指導に役立ててください。

無料アプリは、「スマホにひそむ危険 疑似体験アプリ」（デジタルアーツ株式会社）です。「App Store」, 「Google play」とも『スマホにひそむ』で検索してください。または、下記のQRコードをご利用ください。また、デジタルアーツには「ネット依存型のチェック」もあります。」

○「App Store」



○「Google play」



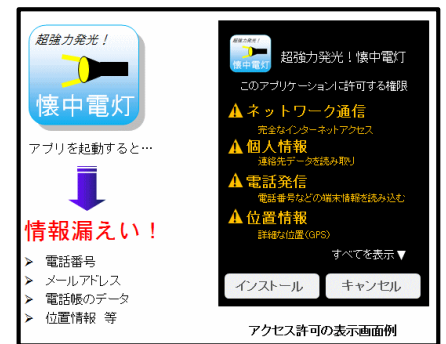
アクセス許可に注意しよう！！ (Android 端末を利用している方)

個人情報等を端末から不正に盗み取り、外部に送信するような不正アプリは、アプリの種類や動作から考えると、不自然なアクセス許可をユーザに求めてくることがあります。アプリをインストールする際には、アクセス許可を必ず確認しましょう。

アプリが「電話発信」、「個人情報」、「位置情報」と「ネットワーク通信」のアクセス許可を求めてきた場合、電話番号や電話帳、位置情報といった情報が、インターネットを通じて第三者に送信されてしまう可能性があります。

例えば、強力な光を放つ機能のみの「懐中電灯アプリ」があったとします。このアプリのアクセス許可に「ネットワーク通信」と「個人情報」「電話発信」「位置情報」は必要ないはずです。

この場合、自分の電話番号やメールアドレス、電話帳のデータ、位置情報がインターネットを通じて第三者へ送信される可能性があります。



◆正当な目的に使用されるアクセス許可なのか分からない場合

アクセス許可が正当な目的に利用されるのか分からない場合は、一旦インストールを中止してください。その後、

- ①アプリのレビュー欄を読み、他のユーザの評判をしてみる。
- ②開発者や開発元が信頼できるか確認する。(インターネットで検索してみる。)
- ③インターネットでアプリについて検索をかけてみる。
- ④正規のアプリとよく似た、偽アプリが報告されていないか確認する。

などアプリについての情報収集を行い、総合的に判断をするようにしてください。

アプリをインストールする際には、「アクセス許可」を確認し、本当に必要な権限なのか判断してからインストールしましょう。



特に、「無料アプリ」は、要注意です。Google play 上位50本を調査した結果、模倣被害を受けているアプリは全体の77%にもおよんでいるそうです。「偽FLASHアプリ」もその1つです。有名なゲーム、SNSを模倣した不正アプリが多いようです。最近では、左記のように情報をロックしてしまい、復活させれば金を払えという「身代金要求型」の手口も出てきました。また、情報だけでなく、遠隔操作でスマホ自体を乗っ取ってしまい、操作してしまうというものまで出てきています。

安全に利用するには「セキュリティソフトウェア」を購入し、インストールすることが1番です。なお、相談窓口として「警察総合相談電話」(0857) 27-9110があります。